

## 2020 年春に大島郡龍郷町の休耕田で見られた水生昆虫類

大庭伸也<sup>1</sup>・井口恵一朗<sup>2</sup><sup>1</sup> 〒 852-8521 長崎県長崎市文教町 1-14 長崎大学人文社会科学域 (教育学系)<sup>2</sup> 〒 852-8521 長崎県長崎市文教町 1-14 長崎大学大学院水産・環境科学総合研究所

## Abstract

We investigated aquatic insects in fallow fields on Amami-Oshima Island in March 2020. We found nine species including eight Coleoptera and one Heteroptera. The large-bodied aquatic coleopteran beetles *Cybister tripunctatus lateralis* and *C. surgillatus* were found, but *C. rugosus* and *Hydrophilus acuminatus* were not found in our survey.

## はじめに

水田は米の生産の場だけではなく、多くの湿地性の水生動物を育む代替湿地として注目されている (Washitani, 2007; 桐谷, 2010; Natuhara, 2013; 大庭, 2015). ゲンゴロウ類やガムシ類などの水生甲虫, タイコウチ *Lacotrephes japonensis* やミズカマキリ *Ranatra chinensis* などの水生半翅類のうち, 止水域に住む種は水田を主な生息地としている (桐谷, 2010; 大庭, 2015).

奄美大島の止水性水生昆虫は 1980 年代の減反政策により, 水田からサトウキビ畑への転作が促され, 湿地帯の消失が著しく, 多くの種が絶滅または絶滅寸前に近い状態となっている (詳細は苅部・北野 2016 を参照). 苅部・北野 (2016) によれば, ガムシ *Hydrophilus acuminatus* は 2007 年以降確認されておらず, タイコウチは現在生息が確認されるのは 1 か所のみとされ, その危機的な状況がうかがえる.

今回, 筆者らはわずかに残された奄美大島北部の水田周りの休耕田で調査をする機会を得たので, そのリストを報告する.

## 方法

2020 年 3 月 28 日および 29 日に大島郡龍郷町内の 2 か所の休耕田 (Fig. 1) でたも網 (幅 30cm, 2 mm メッシュの D フレームネット) によるすくい取りを行った. 乱獲防止の観点から, 場所の詳細は示さないこととする. 調査者一人が抽水植物の根際を中心に約 20 分程度のすくい取りを行った. なお, この調査期間は田植えと重なっていたため, 水田にたも網を入れることは難しく, また水田そのものの水位が下がり (深さ約数センチ), 水生昆虫類は確認できなかった. また, 水生昆虫類への影響が大きいとされる (苅部・北野, 2016) 捕食性外来魚類, アメリカザリガニ *Procambarus clarkii* やホテイソウ *Eichhornia crassipes* も確認されなかった.

## 結果と考察

わずか 2 日間の調査であったが水生甲虫 8 種, 水生半翅類 1 種を確認した (Table 1). 3 月の調査であったため, 確認できなかった種もいるものと考えられる. 今回, 大型ゲンゴロウ類であるトビイロゲンゴロウ *Cybister sugillatus* (沖縄県準絶滅危惧種) およびコガタノゲンゴロウ *Cybister tripunctatus lateralis* (鹿児島県準絶滅危惧種, 環境省絶滅危惧 II 類) の生息も確認されたが, ガムシやフチトリゲンゴロウ *C. rugosus*, オキナワスジゲンゴロウ *Hydaticus vittatus*, タイコウチやミズカマキリなどの中・大型の水生半翅類は全く確認されず, その生存が懸念される. 今後, 水生昆虫類の新成虫が多く確認される晩夏~秋に調査

Ohba, S. and K. Iguchi. 2021. Aquatic insects in fallow rice fields in Tatsugo-Cho, Amami-Oshima Island, Kagoshima, Japan. *Nature of Kagoshima* 47: 397-398.

☑ SO: Faculty of Education, Nagasaki University, 1-14 Bunkyo, Nagasaki 852-8521, Japan (e-mail: ooba@nagasaki-u.ac.jp).

Received: 12 April 2021; published online: 13 April 2021; [http://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK\\_047/047-065.pdf](http://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK_047/047-065.pdf)

できればより多くの種を確認できると期待したい。

## 謝 辞

現地での調査を御許可頂いた荒田義雄さんに感謝申し上げます。

## 引用文献

荻部治紀・北野 忠. 2016. 危機におちいる奄美群島の止

水性水生昆虫たち—湿地環境の消失・劣化と外来生物の影響. 水田 拓(編)奄美群島の自然史学 亜熱帯島嶼の生物多様性. 東海大学出版部, pp. 250–270.

桐谷圭治(編). 2010. 田んぼの生きもの全種リスト改訂版. 農と自然の研究所, 福岡.

Natuhara, Y. 2013. Ecosystem services by paddy fields as substitutes of natural wetlands in Japan. *Ecological Engineering*, 56: 97–106.

大庭伸也. 2015. 水田生態系に生息する水生昆虫類の生態と保全. *農業および園芸*, 90 (2): 243–255.

Washitani, I. 2007. Restoration of biologically diverse floodplain wetlands including paddy fields. *Global Environmental Research*, 11: 135–140.

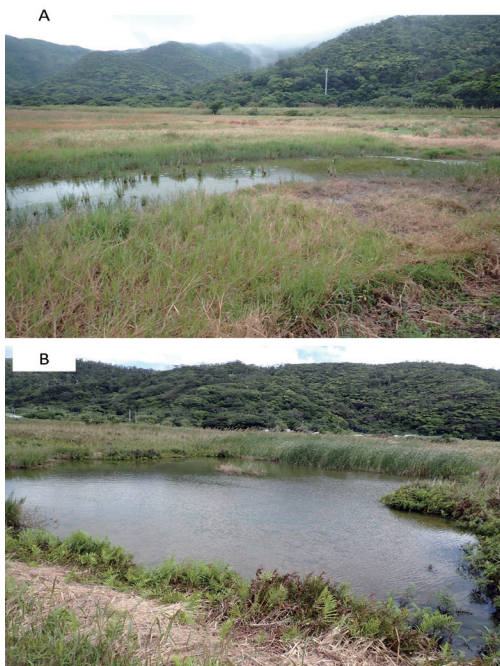


Fig. 1. Two fallow rice fields (A and B) surveyed in this study.

図1. 調査した休耕地1 (A) および2(B).

Table 1. Aquatic insects confirmed in our survey.

表1. 確認された水生昆虫のリスト.

Family (科名)	Japanese name	Scientific name	Fallow rice field	
			1	2
Noteridae (コツブゲンゴロウ科)	コツブゲンゴロウ	<i>Noterus japonicus</i> Sharp, 1873	○	○
Dytiscidae (ゲンゴロウ科)	マメゲンゴロウ	<i>Agabus japonicus</i> Sharp, 1873		○
	ヒメゲンゴロウ	<i>Rhantus suturalis</i> (Macleay, 1825)	○	○
	ウスイロシマゲンゴロウ	<i>Hydaticus rhantoides</i> Sharp, 1882	○	
	トビイロゲンゴロウ	<i>Cybister sugillatus</i> Erichson, 1834	○	○
	コガタノゲンゴロウ	<i>Cybister tripunctatus lateralis</i> (Fabricius, 1798)	○	
Hydrophilidae (ガムシ科)	マメガムシ	<i>Regimbartia attenuata</i> (Fabricius, 1801)	○	
	ヒメガムシ	<i>Sternolophus rufipes</i> (Fabricius, 1792)	○	○
Gerridae (アメンボ科)	アマミアメンボ	<i>Aquarius paludum amamiensis</i> (Miyamoto, 1958)	○	○

○は生息を確認できた種.